

平成二十九年入学試験問題（後期日程）

小論文

法文学部 総合社会システム学科（昼間主コース・夜間主コース）

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、解答時間は、一二〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

次の文章は民主主義について書かれた一般向け書籍の「はじめに」の一部です。この文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

問一 あなたがテレビや新聞、あるいはインターネット上のニュースで目にした「残念な民主主義政治の事例」を紹介しなさい。(二〇〇字以上、三〇〇字以内)

問二 著者が例示している「民主主義への不満」を簡条書きで要約しなさい。(二〇〇字以上、三〇〇字以内)

問三 「民主主義への不満」にもかかわらず「それでも民主主義と別れてしまうことができない理由」について、あなた自身の考えを論じなさい。(四〇〇字以上、六〇〇字以内)

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

(岡田憲治、『デモクラシーは、仁義である』、角川書店、二〇一六年、三〇三ページ、抜粋・一部改変)

【注釈】

【注1】MS：マイクロソフト社。

【注2】ジニ係数：不平等の度合いを測る指標。

平成二十九年入学試験問題（後期日程）

小論文

法文学部 総合社会システム学科（昼間主コース・夜間主コース）

出題の意図

この小論文の出題の意図は、受験生が社会科学系の学問を専攻する上で必要な能力をどの程度持っているかを見ることである。

まず、問題文に関連する適切なニュースを紹介させることによって、社会への関心がどの程度あるかを見る。次に、提示された文章の一部を簡条書きで要約させることによって、議論の柱を正確に把握できているかを見る。最後に、要約部分とは逆の「それでも民主主義を選ぶ理由」についての意見を論じさせることによって、批判的な思考力の有無や、自らの主張を論理的に展開する文章力があるかを見る。

これらは、本学科のアドミッション・ポリシーである①人間社会や社会諸科学への深い関心、②柔軟かつ総合的な思考力、③主体的に学ぶ意欲を判断するものである。